

みずほCustomer Desk Report 2023/02/13号(As of 2023/02/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示仲値	131.70
TKY 9:00AM	131.55	1.0739	141.30	1.2117	0.6938		
SYD-NY High	131.90	1.0752	141.60	1.2137	0.6960		
SYD-NY Low	129.80	1.0666	139.56	1.2047	0.6910		
NY 5:00 PM	131.42	1.0678	140.31	1.2059	0.6919		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	33,869.27	169.39	日本2年債	▲0.0500%	▲0.0100%		
NASDAQ	11,718.12	▲ 71.46	日本10年債	0.4900%	0.0000%		
S&P	4,090.46	8.96	米国2年債	4.5245%	0.0414%		
日経平均	27,670.98	86.63	米国5年債	3.9279%	0.0684%		
TOPIX	1,986.96	1.96	米国10年債	3.7426%	0.0799%		
シカゴ日経先物	27,605.00	45.00	独10年債	2.3640%	0.0600%		
ロンドンFT	7,882.45	▲ 28.70	英10年債	3.3970%	0.1105%		
DAX	15,307.98	▲ 215.44	豪10年債	3.7160%	0.0490%		
ハンセン指数	21,190.42	▲ 433.94	USDJPY 1M Vol	14.30%	1.99%		
上海総合	3,260.67	▲ 9.71	USDJPY 3M Vol	13.02%	0.18%		
NY金	1,874.50	▲ 4.00	USDJPY 6M Vol	11.91%	0.20%		
WTI	79.72	1.66	USDJPY 1M 25RR	▲1.42%	Yen Call Over		
CRB指数	272.67	2.19	EURJPY 3M Vol	12.26%	0.22%		
ドルインデックス	103.63	0.41	EURJPY 6M Vol	11.59%	0.18%		

東京	東京時間のドル円は131.55レベルでオープン。五・十日とあって、実需の売り買いが交錯。仲値後にはドル買い優勢となり131.90まで上昇する場面もあったが、高値圏ではドル売りも相応に見られ値を戻した。その後は、来週の米1月CPIを控え、131円台後半で方向感を欠く展開が続き、131.58レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は131.58レベルでオープン。岸田総理大臣が次期日銀総裁に植田和男氏を起用するとの報道があると円高になり、急落。一時129.80をつけた。しかし、同氏がその後記者団に対して「現状では金融緩和の継続が必要だ」と述べたことが市場に伝わると一転して円が売られ一時131円台まで回復。130.92レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は131円台半ばでスタート。ゴト一日で実需のドル買いが入り、東京仲値通過後に131.90をつける。その後、131円台半ばでもみ合いとなっていたが、一部報道から「政府、日銀新総裁に植田和男氏を起用する人事固める」と伝わると日銀による金融政策の転換が行われるとの見方から円買いで反応し、一時129.80まで急落。しかしその後、植田氏が「現状では金融緩和の継続が重要」とインタビューで考えを述べたことから、売りが巻き戻され131円台半ばまで急反発。早朝は131円ちょうど付近でもみ合い、130.92レベルでNYオープン。朝方は130.58まで下押しする場面もあったが、その後は米長期金利上昇を意識したドル買いが優勢となり131円台を回復。10時にはミシガン大学が発表した1年先の期待インフレ率が予想を上回ったことも米金利上昇をサポートした結果、ドル買いの流れは止まらず。午後も米長期金利が3.75%付近に迫る動きを見せる中、131.60まで上昇し、日銀総裁人事を巡るヘッドラインが伝わる前の水準まで値を戻した。終盤は小幅反落し、結局、131.42レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07半ばでスタート。先述のヘッドラインを受けて、対円のドル売りがユーロドルにも波及し、一時1.0752まで上昇するも、その後はドル買い優勢に転じたことから1.0682まで下落後、1.0683レベルでNYオープン。米金利上昇を受けてドル買いが先行し、ユーロドルは1.0666まで下押し。しかし、週末を控え、積極的な取引が手控えられる中、午後は安値圏で小動き。結局、1.0678レベルでクローズ。

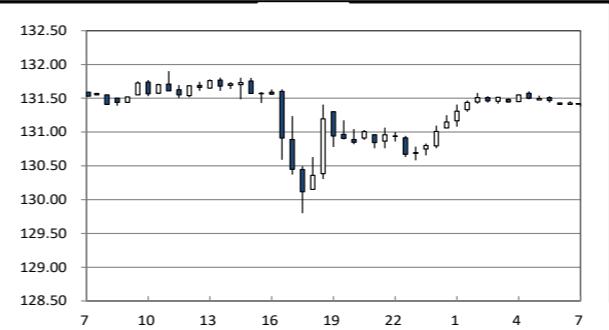
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月10日	16:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月 0.3%/-4%	-0.2%/-5.2%
	16:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	12月 0%/-5.7%	-0.2%/-6.1%
	16:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q P 0%/0.4%	0%/0.4%
	16:00	英 個人消費(前期比)・速報	4Q P 0.1%	-0.1%
2月11日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	2月 66.4	65.0

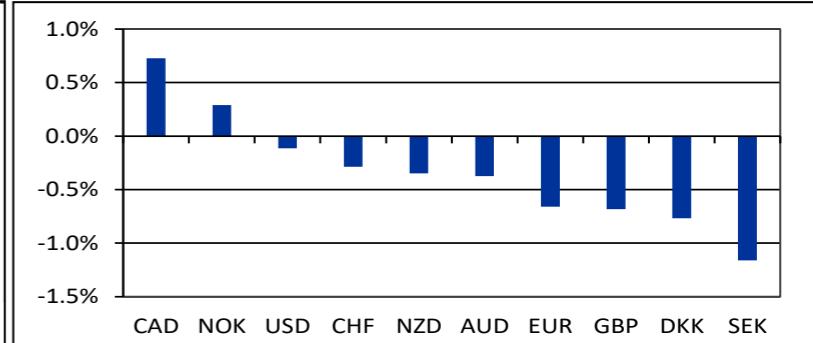
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
-	-	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.50-132.00	1.0630-1.0730	138.50-141.50

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は欧州時間入り直後に日銀新総裁のヘッドラインで大きく上下。今まで可能性として挙がってきた人物とは全く異なることから直後の反応は鈍かったものの、徐々にリスク回避的なドル円の売りとなった。その後は、金融緩和継続を肯定するようなヘッドラインにすぐに相場は反転。結局131円台での推移となった。本日のドル円は、引き続き131円台でのレンジ推移にとどまる予想。日銀新総裁人事案の国会への提示が火曜日に控えているほか、同じく火曜日に予定されている米CPIへの警戒感はそれなりに強い。月初の雇用統計の強さもあり、思いのほか物価上昇も根強い可能性が注目されている。かかる状況下、本日のドル円は方向感が出にくく、動意の薄い展開となろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:原田・逸見